

防災活動拠点の整備について

計画的に進めている防災活動拠点の整備について、平成22年度は、下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

1 目的

災害時における地域の情報収集や伝達、防災資器材を活用した消火、救出・救助などの地域防災活動の拠点とするほか、炊き出しや仮設トイレなどの生活支援の場として、公園等の新設や改修にあわせて防災設備を整備し、災害に強いまちづくりを進める。

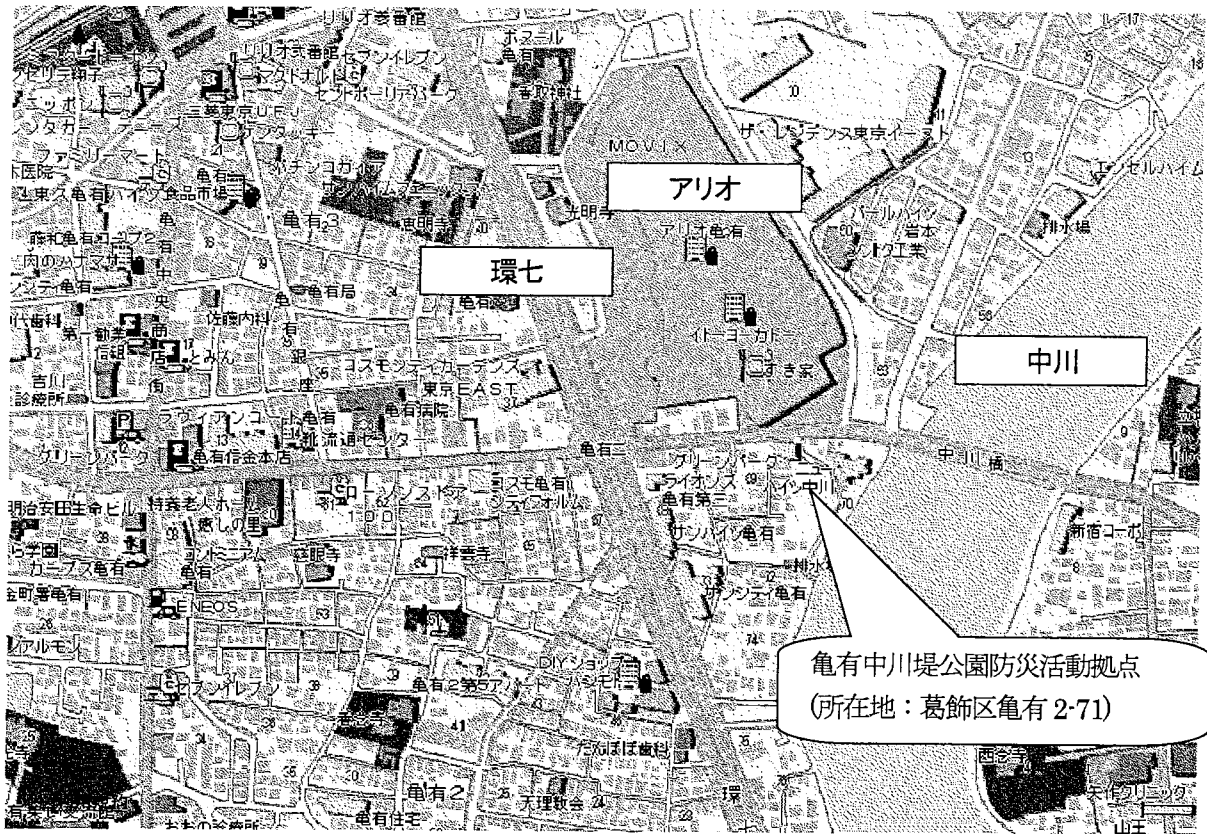
2 平成22年度整備の防災活動拠点

名 称	所在地	面 積	整備施設	
亀有中川堤公園 (新設)	亀有二丁目71番	1,811 m ²	防災倉庫	1棟
			防火貯水槽	1基
			雨水貯留槽	1基
			手押しポンプ	1基
			洗い場	1箇所
			パーゴラ	1基
			かまどベンチ	3基
			仮設トイレ用マンホール	6基

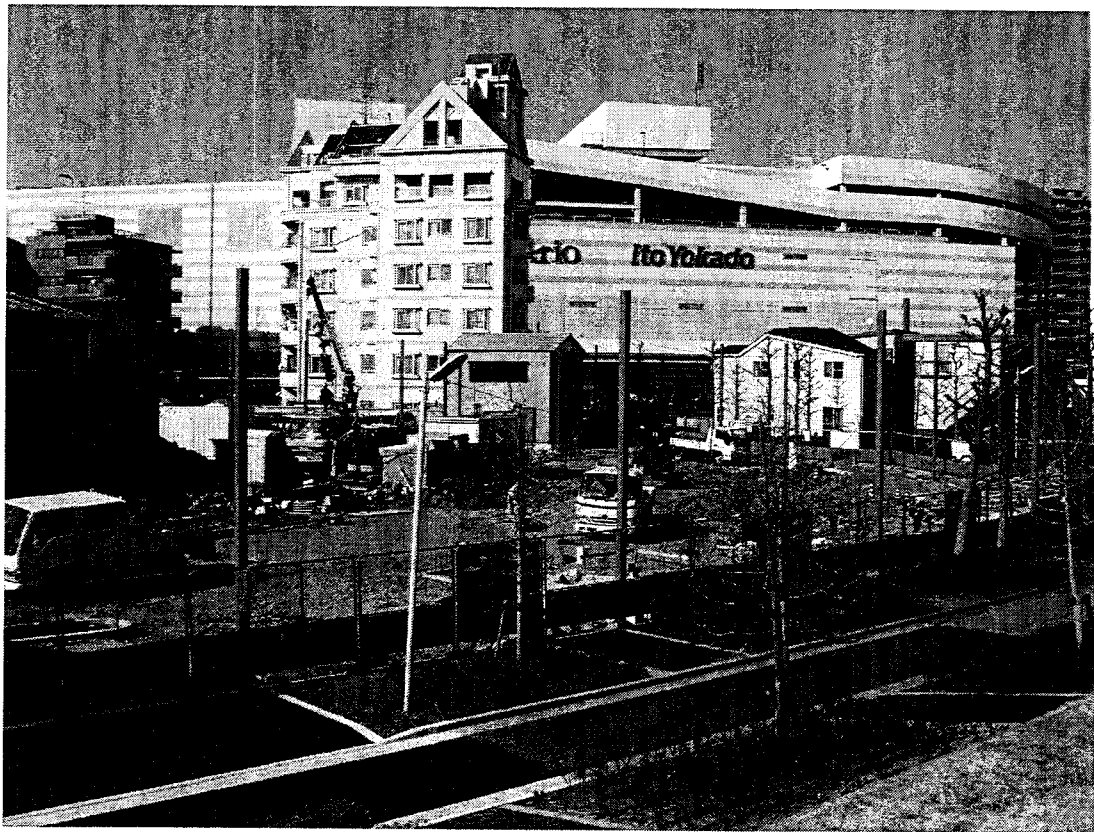
※ 平成22年度末までの整備数は26拠点（全体整備計画 30拠点）

※ 亀有中川堤公園防災活動拠点の位置図及び外観は、裏面のとおり

亀有中川堤公園防災活動拠点位置図

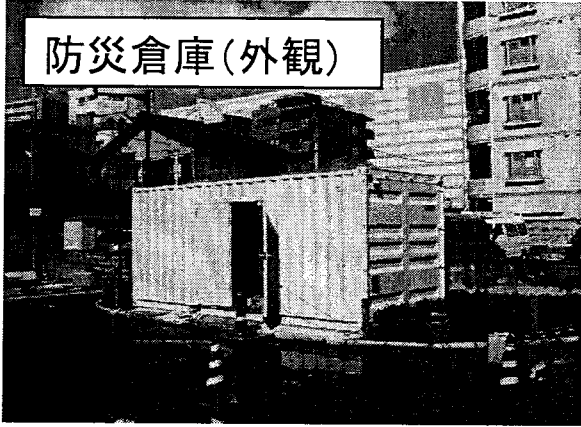


外観図



防災活動拠点整備施設

防災倉庫(外観)



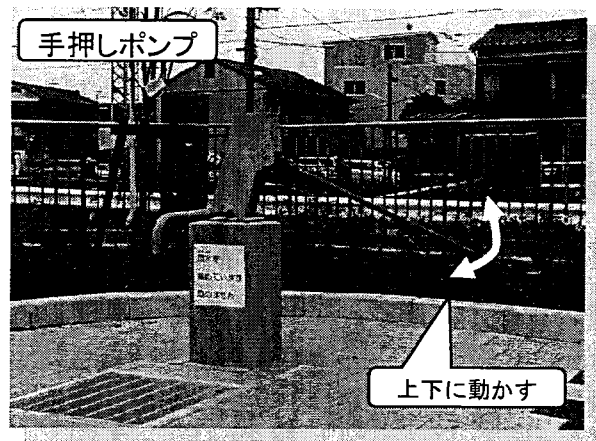
防災倉庫

防災倉庫の中には、救助資器材などが格納されています。

また、災害時には格納されている資器材を外に出すことによって、拠点本部や応急救護所として使用することも出来ます。

雨水貯留槽 手押しポンプ

雨水を有効利用するために、雨水貯留槽が設置されています。これは、防災倉庫の屋根に降った雨水を、土中に設置した貯留槽に溜めて、手押しポンプにより組み上げ、生活用水等で使用します。



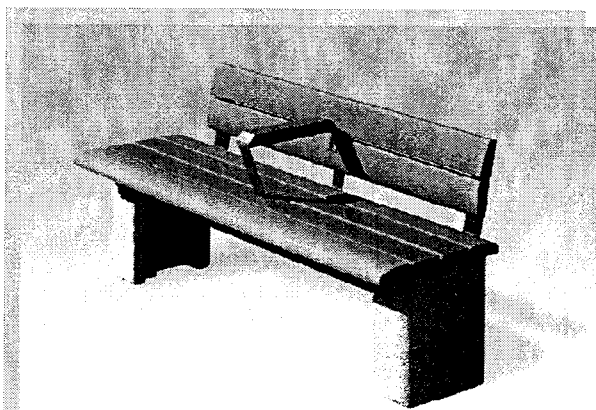
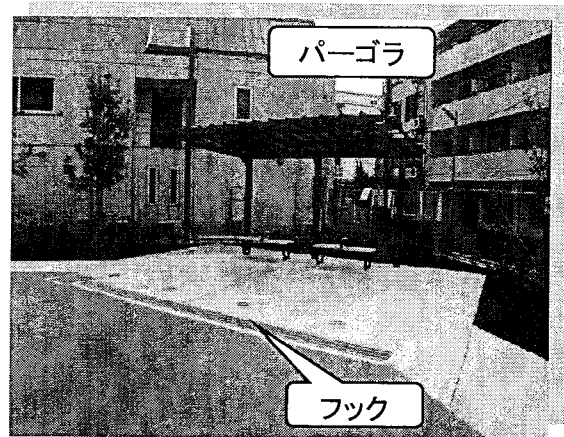
洗い場

水道栓については、平常時には付いていません。

災害時に、防災倉庫から出して取り付けます。

パーゴラ

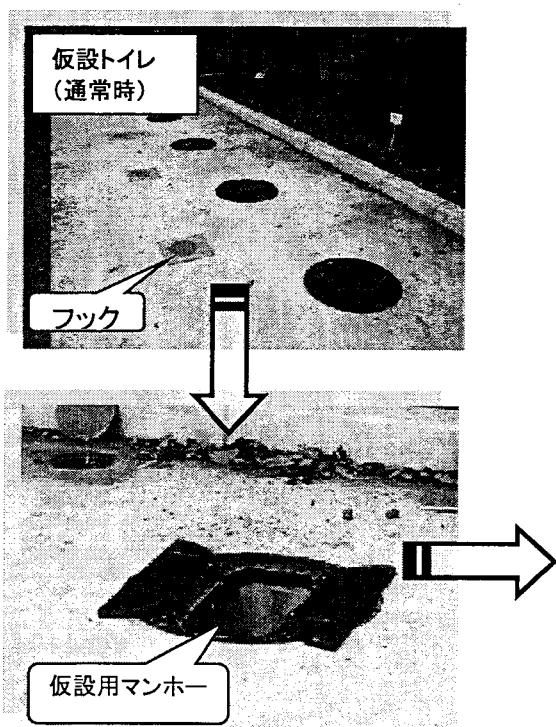
災害時にブルーシートを張ることにより、応急救護所や仮設本部等になります。
考え方次第で、防災倉庫と同様、様々な使い方が出来ます。（シートを放水訓練の的としても使用します。）



かまどベンチ

平常時には腰掛として使用しますが、災害時には、座板を外し組み付けの金網を用いて、かまどとして使用することが出来ます。

また、座面は「まき」として使用することもできます。



仮設トイレ用マンホール

災害時にはふたを開け、その上に仮設トイレを設置することにより、非常用のトイレとなります。

